

AMED-創薬等支援技術基盤プラットフォーム拠点間技術交流会のご案内

各位

日本医療研究開発機構（AMED）が推進する「創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業」に参加する名古屋大学（解析拠点）の2研究室および、御茶ノ水大学・情報拠点情報領域が会して、拠点間の支援活動の情報交換をはかりつつ、最新の研究内容の報告を行う「拠点間技術交流会」を企画いたしました。年度末の大変忙しい時期ではございますが、皆様、ふるってご参加ください。

記

日時 平成28年2月22日（月曜日） 15:00～17:20

場所 名古屋大学・創薬科学研究館 2F 講義室 （地図は[こちら](#)をご覧ください）

入場無料・事前登録不要

プログラム（詳細は[こちら](#)をご覧ください）

15:00～15:20 廣明秀一（名古屋大学大学院創薬科学研究科）

「理学部構造生物学研究センターのNMR装置群とNMRを利用した創薬支援の一例」
（解析拠点・解析領域・相関構造解析班）

15:20～15:40 太田元規（名古屋大学大学院情報科学研究科）

「移動するハプタンパク質」
（解析拠点・バイオインフォマティクス領域）

15:40～15:50 休憩

15:50～17:20 招待講演

由良 敬 先生（お茶の水女子大学生命情報学教育研究センター）

「構造生命科学データクラウド VaProS とそのリソソーム病の分子病態研究への応用」
（情報拠点・情報領域）

主催：名古屋大学理学部附属構造生物学研究センター

共催：名古屋大学情報科学研究科・創薬科学研究科

問合せ先：廣明秀一（創薬科学研究科）

hiroaki.hidekazu@f.mbox.nagoya-u.ac.jp